



# 井草会会報

発行 昭和55年11月10日  
第18号

## 井草高校同窓会開催のご案内!!

昭和55年度の井草高校同窓会(井草会)を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。尚、今年度は恩師の方々を多数ご招待しておりますので、お友達をお誘い合せの上、奮ってご参加下さい。井草会幹事一同

記

日 時 11月30日(日) 午後1時~4時  
場 所 母校井草高校  
会 費 1,000円(飲み放題・食べ放題)

## 井草高校同窓会の現状

同窓会会長 野呂俊一

井草高校同窓生の皆様にはますます御元気に御活躍のことと存じます。我が母校井草高校は昭和十六年一月二十七日に創立され以来、高女時代五回、高校になり三十二回、合わせて一万二千余名の卒業生を社会に送り出しています。その間、広瀬政次校長時代(昭和十六~二十一年)、杉山文雄校長時代(昭和二十一~二十七年)、高柳二校長時代(昭和二十七~三十年)、真田幸男校長時代(昭和三十~三十六年)、藤井茂校長時代(昭和三十六~四十年)、前島寿一校長時代(昭和四十~四十四年)、飛岡正治校長時代(昭和四十四~四八年)、桃原良治校長時代(昭和四十八~五十二年)、新井鎮夫校長時代(昭和五十二~五十四年)、渡辺久男校長時代(昭和五十四年)と、十代、四十年の永きにわたり、歴史と伝統をはぐくんできています。この間、昭和四十五年には水泳プールが、昭和五十年には立派な体育館も完成し、まさに、「練馬の地に井草高あり」といった感がいたしました。

井草高同窓会も、これまで若い幹事の皆さんを中心になって、同窓生名簿の作成、会報、総会、会費徴収など身近な地味な仕事をこつこつ続けています。しかし、数の上ではこれだけ大きな仲間にっていますが、現状では、多くの問題点をかかえ、「曲がりかどにさしかかった井草同窓会」といえるのではな

いでしょうか。そして、その根源を掘りさげていきますと、「人事と資金」ということになります。  
まず人事面について現状をおはなしします。ひと昔前と異なり、約98%の井草高学生が大学または短大へ進学し、高校生活は単に大学へのスタート台となりつつあります。したがって、若い層の井草高への愛着というものは、かなり淡白なものだと思われます。当然大学での生活が中心になってくるため、同窓会の仕事の中心になつてもらえる「核」としての若い幹事が育ちにくくなっています。もつとも、後継者育成に関しては、私にも大きな責任があると思つています。また、同窓会の年令層も五十年代から十代までかなり幅広くなり、その考え方のベクトルを一定の方向にとることが難かしくなっています。現に、ここ2年間総会を開催しなかつたことに関しては、非常に残念に思つています。

つぎに、資金面について現状を御報告します。会計報告の欄からおわかりのように、新入会員からの入会金および年会費に大きく依存しており、年間約百万円の予算でまかなっています。仮りに、会報を年に一度、同窓会員に郵送しますと、会報作成代および郵送費で、約百万円の経費がかかってしまいます。五年に一度の名簿発行や、都内のホテルで総会および懇親パーティを開催しようという

## 昭和54年度決算及び

## 昭和55年度予算

4月13日の幹事総会で、下記の通り成立致しました。

## 〔昭和54年度決算〕

## ◎収入

新入会員会費	804,000
前年度繰越金	960,234
会費	18,000
寄付金	11,000
雑収入	211,228
計	2,004,462

## ◎支出

同窓会館改善費	620,000
幹事会・役員会費	202,505
交通費	52,300
事務費	102,885
雑費	21,638
次年度繰越金	1,005,134
計	2,004,462

## 〔昭和55年度予算〕

## ◎収入

新入会員会費	812,000
前年度繰越金	1,005,134
会費	400,000
寄付金	100,000
雑収入	10,000
計	2,327,134

## ◎支出

同窓会館改善費	80,000
井草会会報印刷費	150,000
井草会会報発送費	700,000
同窓会開催費	530,000
幹事会・役員会費	200,000
交通費	50,000
事務費	100,000
雑費	17,134
次年度繰越金	500,000
計	2,327,134



井草高等学校  
井草会名誉会長 清水庫之祐

恒例の

臨海学校

が七月二

十一日か

ら二十五

日まで行

校内

の状況

を把握

できま

し

た。

八月一日付で渡辺久男前校長の後任と

して伝統ある本校に着任いたしまし

た。すでに一年三ヶ月が経過してのご

挨拶で恐縮ですが、おかげで只今は、学

校内外の状況も大体把握できました。

会員諸賢の倍旧の御指導ご鞭撻を

お願いする次第でござります。

恒例の

昭和五十二年より広く寄付を募つておりますが、五十三年七月より今年六月までの間に左記の方々から、井草会へ寄付をいただきましたので、誌上を借りて感謝の意を表します。

尚、井草会も何かと財政難の折、今後ともよろしくお願いいたします。

(数字は一口千円の口数、順不同、敬称は略させていただきます。)

旧客員 並木茂子 10

高女一回 石閔恵美子 5・宇田川和子 2  
石田京子 2・最上静江 2・黒岩慶子 1  
宿谷典子 1・石村華子 1・後藤葉子 1  
矢島昭子 2・山本宏子 3・田中和子 1  
下村とし子 1・原芳子 2・金井 和 2  
高女二回 吉村千恵子 3・富樫久美子 2  
菅田文子 1・五藤富士子 1  
篠美和子 1・中平多恵子 1  
高山登志子 2

高女三回 江藤幸子 3・川崎知恵子 2  
飯田直子 3・春山容子 3・本部滋子 1  
伊藤君江 1

高校七回 服部ひさ子 4・梅木恵美子 1  
渡辺ふさ子 1・阿部妙子 5・桑原圭 2  
登坂美佐子 2・真壁信代 2  
高女五回 三河尻みどり 1・平方睦子 3  
小俣幸子 3・目崎洋子 2・板谷和子 1  
高校一回 田中阿佐子 1・後藤貞子 2  
高校二回 坂下恵美子 2・大橋満里子 2  
高勝雅子 1・高橋寿子 1・高橋朗子 1  
小山俊子 1・竹内祥子 1・松原順子 2

高校三回 三原百合子 2・佐々木泰子 2  
古屋靖枝 5・片山澄子 3・瀬戸久子 2  
尾崎鏡子 2・四柳孝子 2・尾島正恵 2  
雨宮悦子 2・島崎順子 2・藤広洋子 3  
田中洋子 2・原田昌子 1・杉山孝子 1  
桑原節子 1・竹田知子 1・鈴木安江 1  
品田三枝子 3・西崎真由美 1  
金沢美保子 1

高校四回 山本喜美子 2・沖浜美津子 1  
石井敏子 2・野室孝子 1・間藤道子 1  
藤原輝子 1・矢島良子 1・石川知子 1  
仲田節子 1・織川美佐子 1・斎藤多賀  
子 1・隅屋郁子 1・高島陽志子 1  
高校五回 粕谷美美子 5・高部三枝子 2  
佐藤美恵子 5・神谷貴三子 1  
宮本みどり 1・佐治朝子 1  
山田節子 1

高校六回 松浦いづみ 2・平岩允理子 1  
星野光利 2・遠矢良隆 3・大島良枝 1  
小池千代子 1・山崎イセ子 1  
石元さよ子 1

高校十七回 安部憲治 2・山田泰子 1  
高校十八回 嶋村光司 1・琴坂 晓 1  
石川陽一 1・陳 誠堂 1  
高校十九回 長内健一 1・倉重哲幸 1  
杉浦 裕 1・村田 勉 1  
高校二十回 篠田こと 1・武田明喜 1  
村田直樹 2・能登 進 2・上村礼子 1  
中村正裕 1  
高校二十一回 伊藤正子 5・安田 忠 1  
佐野幸子 3

高校二十二回 小堀 衛 10・室田浩子 2  
高校二十三回 天野 茂 1・池田幸子 1  
清水一己 1  
高校八回 中上喜久男 3・植村紫津子 1  
三村明敏 1・津金恵美 1・内藤 博 2  
小萱婦 美子 1  
高校二回 坂下恵美子 2・大橋満里子 2  
高木康彦 5・金戸秀子 1・片桐智子 1  
浜村芳子 1・宿輪栄子 1  
小沢千恵子 1・矢口恵美子 1

# 寄付者

# 一覽

高校九回 大谷美和子 1・野瀬智慧子 1  
北村温子 10・斎藤通子 2・藤山昌代 1  
服部久子 1・福島和子 1・畔柳博子 1  
関川幸子 1・川崎梢 1・阿部タキコ 2  
高校十回 沢地鶴二郎 10・斎藤奈々生 1  
金沢永子 1・池田育代 1  
上村玲子 1・小林不二夫 1  
高校十一回 新田恵三 1  
平野順子 1・新田恵三 1  
高校十二回 大沢和子 2・村田美智子 1  
宇野純子 2・上野 浩 1・松本郁子 1  
山田彊子 1  
高校十三回 高橋栄子 1・高橋啓子 1  
松本敏子 1・篠 悅子 5  
高校十四回 斎藤靖子 2・三宅みどり 1  
松本洋子 1・福田 誠 1・栗田 鑿 1  
高校十五回 室田速夫 2・高相治子 1  
小松健吾 1・小野節子 1・近藤 弘 1  
川添洋子 1・倉田登志子 1  
高校十六回 石川 勝 3・深津 修 1  
国場 覚 1・加藤茂美 1・高埜弘子 4  
高校十七回 安部憲治 2・山田泰子 1  
高校十八回 嶋村光司 1・琴坂 晓 1  
石川陽一 1・陳 誠堂 1  
高校十九回 長内健一 1・倉重哲幸 1  
杉浦 裕 1・村田 勉 1  
高校二十回 篠田こと 1・武田明喜 1  
村田直樹 2・能登 進 2・上村礼子 1  
中村正裕 1  
高校二十一回 伊藤正子 5・安田 忠 1  
佐野幸子 3

高校二十二回 小堀 衛 10・室田浩子 2  
高校二十三回 天野 茂 1・池田幸子 1  
清水一己 1  
高校八回 中上喜久男 3・植村紫津子 1  
三村明敏 1・津金恵美 1・内藤 博 2  
小萱婦 美子 1  
高校二回 坂下恵美子 2・大橋満里子 2  
高木康彦 5・金戸秀子 1・片桐智子 1  
浜村芳子 1・宿輪栄子 1  
小沢千恵子 1・矢口恵美子 1

高校二十四回 海老原由樹夫 1  
高校二十四回 海老原由樹夫 1  
澤開しげみ 1・菅原 肇 1

高校二十七回 松崎哲男 2・三浦庸一 1  
角田和嘉子 1・高橋誠一郎 1  
沖田憲康 1  
高校二十六回 木村 豪 1・山田武夫 1  
井上博文 1・山本晃嗣 1・渡広高登 1  
山本 卓 1・鈴木美知子 1  
高校二十八回 原岡理恵 1・梶川智子 1  
谷口千代美 1・金子信一 1  
高校二十九回 尾坂 晃 1・後藤晶彦 1  
鈴木幹夫 1・大谷大介 1・高橋隆二 1  
小室孝志 1・加藤智恵美 1  
倉田さかえ 1

会費の支払いに銀行振込みもご利用ください。

## 銀行口座

三菱銀行高田馬場支店  
口座番号 ○五四三四三〇三七〇一一番

第一勧業銀行高田馬場支店  
口座番号 ○六四一一四七三四六番

井草会 築山俊一行  
井草会 築山俊一行

今年の井草祭は……左記の通りでした

高文四回 毎日新聞の兄弟紙「くりくり」(週刊紙、10月19日号)によれば、今年の井草祭は次の通りでした。

(掲載文のまま)

井草祭も終わり、魔の季節到来、どつか安く、

裏から入れてくれる大学ないかしら  
中田元子記者・練馬区・高3

井草祭もおわり、我ら3年には大学受

験準備のため魔の季節到来……どつか安  
く、裏から入れてくれる大学ないかしら?

では、我が井草高校が誇る「井草祭」

の紹介を。

まず初日は、杉並公会堂での文化祭。  
2日目は、校内での展示会の準備。

3日目は、展示会。我が3Fは「お化け屋敷」。まるで、ゴミためのよう、あらゆるものを持ち込んで作った見事な(?)セット、見る目も離しません。

4日目も展示会。長蛇の列のため、休憩間。その後、大急ぎで後片づけ。

5日目、体育祭の予行。まだ、うちの軍は、マスコットができていなく、3年

を動員し、必死の作業。リーダーの鬼軍曹の方は、ミーティングおよび小旗の製作(行進の時、うちの軍全員に持たせるために)。競技の打ち合わせetc……

大忙し!

6日目、井草祭ラストの体育祭&B.F.(ポン・ファイア)。今年のテーマは「熱血・井草パワー」。どっちかといふと、井草の「胸天バーバー」の方が、正しいんじやないかと思つたりして……

さて、競技の説明――

▽竹取り物語▽全校女子による棒引き。

▽棒たおし▽全校男子そのものズバリの競技。

▽ヘビの皮むき▽説明しがたい2年男子の競技。

▽障害物▽男女ペア。3年生の特権?

井草祭もおわり、我ら3年には大学受験準備のため魔の季節到来……どつか安く、裏から入れてくれる大学ないかしら? では、我が井草高校が誇る「井草祭」

▽3千M復活してしまった魔の競技。

▽騎馬戦▽全校女子、男子。恐ろしさは? ハハ!!

他に少々。今年は、係の不手際が、やけに目に付いたなア。

優勝は、飛雄馬軍(ベケはうちの軍)。マスコット賞は、タブチ軍。我らが鬼太郎軍は、ベスト・ユニオンと応援団賞(ジンクス破ったぞ……)。

B.F.は、私たち自作自演の歌、フォーマン

ばたいてやるからな……!

4日目も展示会。長蛇の列のため、休

みなしで、サウナ風呂のような教室で大奮闘。その後、大急ぎで後片づけ。

5日目、体育祭の予行。まだ、うちの軍は、マスコットができていなく、3年

を動員し、必死の作業。リーダーの鬼軍曹の方は、ミーティングおよび小旗の製作(行進の時、うちの軍全員に持たせるために)。競技の打ち合わせetc……

大忙し!

6日目、井草祭ラストの体育祭&B.F.(ポン・ファイア)。今年のテーマは「熱血・井草パワー」。どっちかといふと、井草の「胸天バーバー」の方が、正しいんじやないかと思つたりして……

さて、競技の説明――

▽竹取り物語▽全校女子による棒引き。

▽棒たおし▽全校男子そのものズバリの競技。

▽ヘビの皮むき▽説明しがたい2年男子の競技。

▽障害物▽男女ペア。3年生の特権?

一ク・ダンス、花火の3本立て。壁の花

じやなく、「コケ」になりかけた私は、先生を引っ張つていき、なんとかコケから脱出したのであります。(コケのまんまと人もいたけど)。ラストの打ちあげ

花火で、井草祭のすべてが終わり。

入するのです。シラケ。無気力とは無縁の井草へ、おいでませ!

新入社員に対する企業サイドからの一般的評価は、真面目で仕事もそこそこにこなす反面、個性がなく平凡であるとの指摘です。私の思うところ、そうなる背景は学生時代に培われた後天的要因に帰するところが大きいと思われます。

学歴偏重社会に順応するため所謂ペーパーテストのみで評価され、有名大学が官庁、上場会社に直結するという考え方には慣れさせられ、本人も周囲の状態を肯定定し、不本意ながら、適当に勉強し適当に遊べばよいという考え方になってしまふのは仕方がない事だと言えます。そのような環境で育った者が、社会に出て自分の個性を發揮したり、労を尽しまず働くなどは望むべくもないのです。就職試験で学歴重視の選考をする企業が、それ

は既成の概念にとらわれない自由な井草生としての環境があると思われます。一

人一人が成績・評価のみにとらわれずには遠い井草と思われるがちですが、そこには既成の概念にとらわれない自由な井草生としての環境があると思われます。

石油ショック以来の減量経営の状態では、一人の社員の採用も企業にとっては

重大問題と言わざるをえない事態となり

るのではないかでしょうか。

石油ショック以来の減量経営の状態では、一人の社員の採用も企業にとっては

重大問題と言わざるをえない事態となり

(高校二十六回卒)